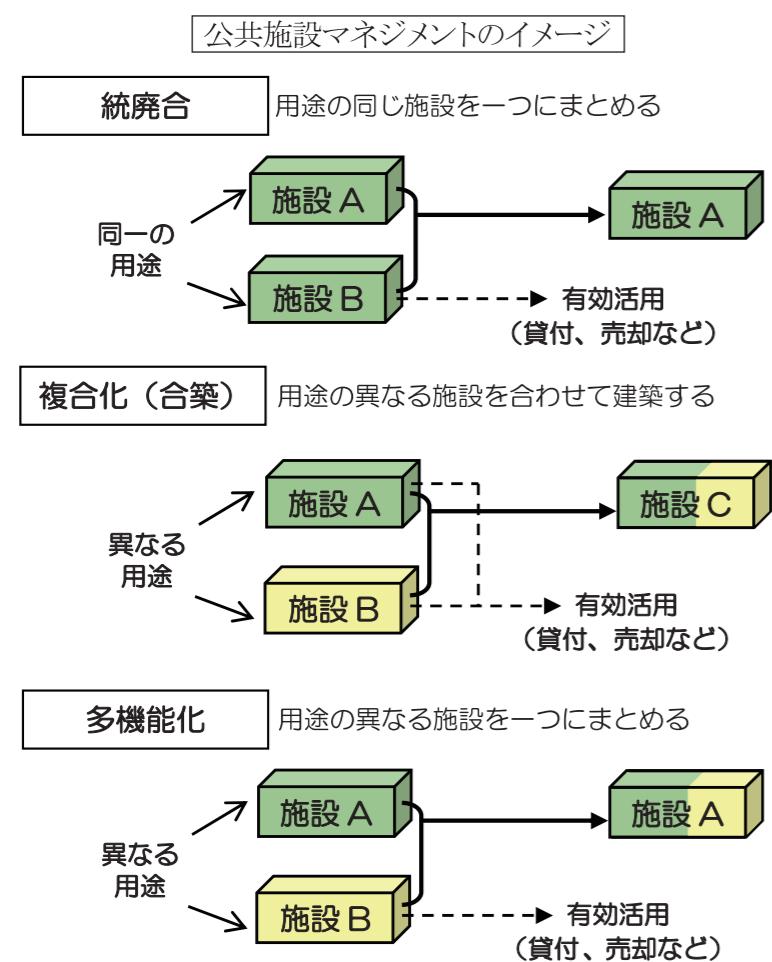


これからの公共施設を考える



公共施設の最適配置を目指して

公共施設の保有量を30%削減することは容易ではありません。また、単に保有量の削減だけを目指してしまふと、市民サービスの低下を招いてしまいます。

保有量の削減は基本原則に基づき、施設の長寿命化のほか、統廃合、複合化、多機能化などさまざまな手法を組み合わせ、将来の人口規模や市民ニーズを見越した身の丈に合った施設にしていく必要があります。

また、市民サービスでは、あり方の見直しを行い、よりサービスが充実するように進めていく必要があります。詳しくは、「下妻市公共施設等マネジメント基本方針」をご覧ください。

QRコード
下妻市公共施設等マネジメント基本方針

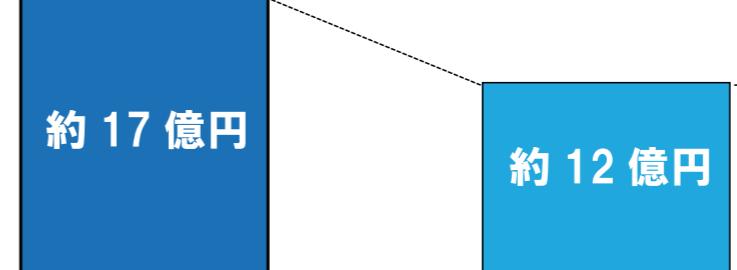
■ 基本方針の数値目標 ■ 公共施設を「今後30年で30%縮減」していきます

公共施設

今後30年間で必要な公共施設の更新費用

30年間：約501億円 = 年平均：約17億円

将来必要な更新費用
(年平均)



直近 5 カ年の更新費用
(年平均)

約 12 億円

この差が維持困難な
公共施設分
約30%（年間5億円）
の縮減が必要あり！

インフラ資産

インフラ資産は、将来の更新費用が現在の投資額の2.7倍と非常に厳しい状況ですが、社会基盤となる重要な施設であるため、現時点で総量の縮減を目指すことが困難です。そのため、計画的かつ予防的な修繕へと転換し、維持更新費用の縮減を図りながら持続可能な施設保有を目指します。

■ 公共施設等マネジメントの基本原則 ■

公共施設等マネジメントは、長期的な視点で判断することが重要です。将来に負担を残さないよう、社会状況や市民ニーズの変化を捉えつつ公共施設等を最適な状態に維持するため、基本原則を次のとおり定めます。

公共施設の保有量（延床面積）を削減する

- 具体的な数値目標を立て、積極的な統廃合を推進
- 新規整備は、原則として行わない
- 保有量を削減しつつ、市民に提供するサービスの質の向上を図る

施設の更新時には、複合化を行う

- 効率的な施設の統廃合や複合化を行い、保有量の削減や管理運営の効率化を図る

長寿命化によりライフサイクルコストを縮減する

- 既存施設の有効活用を図るとともに、予防保全型の維持管理により施設の長寿命化を図る

ニーズを把握し、必要な機能を確保する

- 道路の新設は必要な場合を除き抑制する
- 変化するニーズを的確に把握し、防災や交通等、新たなニーズへの対応や機能の強化を行う

長寿命化によりライフサイクルコストを縮減する

- インフラ資産ごとの長寿命化計画に基づく、予防保全型の維持管理の推進する
- 中長期的な視点による計画的・戦略的な維持管理により、更新費用の抑制・平準化を図る

一緒に考えてみませんか…これからの公共施設 「公共施設を考える市民ワークショップ」を開催します

公共施設を実際に使用するのは市民の皆さんです。そのため、公共施設等マネジメントは、市民の皆さんと共に「公共施設の将来のあり方」についてじっくりと話し合うことが重要と考えています。

市では、平成28年度に基本方針をより具体化するため、「公共施設等マネジメント実施計画」を策定します。実施計画の策定にあたり、公共施設の現状と課題を市民の皆さんと共有し、公共施設の将来のあり方について具体的な検討を行う市民ワークショップを開催します。

現在、参加者を募集しています。一緒に公共施設の将来について考えてみませんか。

開催日時
第1回：平成28年8月31日（水）18:30～20:30
第3回：平成28年10月下旬頃
第2回：平成28年9月28日（水）18:30～20:30
第4回：平成28年11月中旬頃

開催場所
市役所第二庁舎 3階 会議室

募集対象・人員
市民または市内への通勤・通学者の方。20～30人程度。※応募者多数の場合、抽選となります。

申込方法
参加申込書に必要事項を記入し、7月29日（金）までに財政課へEメールもしくは持参でお申込みください。
参加申込書は、市ホームページもしくは市財政課で配布しています。

申込先・問い合わせ
財政課 施設経営係 ☎43-2235 Eメール zaisei@city.shimotsuma.lg.jp

その他
報酬なしでの参加となります。ワークショップ開催中は「託児サービス」を実施します。